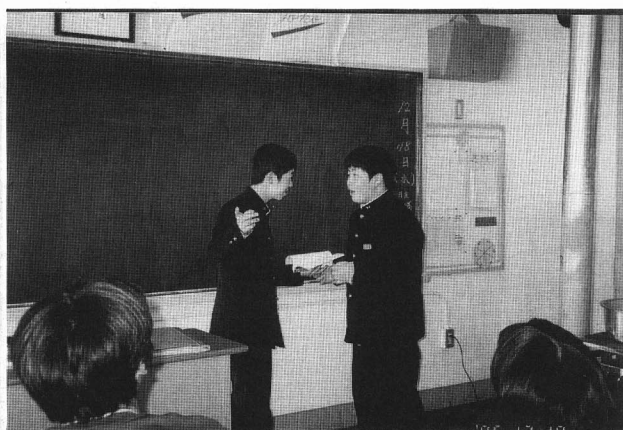


写真 3



生徒と先生のやりとりの劇

(例)

- 遅刻が多い生徒に先生が訳を尋ねる場面
- 宿題を忘れた生徒に、その理由を尋ねる場面
(教科の設定は自由)
- 掃除をきちんとやらない生徒に先生が注意する
場面
- 教室で漫画の本を読んでいて先生に見つかり、
言い訳をする場面

生徒と親のやりとりの劇

(例)

- 親に通知表を見せて、それからの親と子の会話
の場面
- 親に小遣いの値上げを頼むときの親と子の会話
の場面
- 新しいジャージ(運動靴やスパイク)を買っ
て欲しいと親に頼む場面
- 親が次の日曜日に家族でドライブに行こうと誘
うが、それを断る場面
- 親と将来の進路について話し合っている場面

4 検証授業

第1次検証授業

(ステップ1のウォーミングアップを終了直後の
段階で実施)

主題名 人間の気高さ(内容項目 3-(3))

資料名 「銀色のシャープペン」

研究との関連

資料の主人公が犯してしまった罪の意識を感じな
がらも、どう対処してよいか分からず悩む心の中の
相反する二つの気持ちのぶつかり合いを、ロールプ
レイングを行うことで生徒に自分のこととして考え
させる。自分の中にもそのような気持ちが存在する
ことを実感させ、人間としてよりよい生き方をしよ
うとする心情の育成を図る。

指導過程

段階	学習活動・内容	指導上の 留意点
導 入	1 教師の話を聞く。	教師の体験談 を聞くことで 資料内容への 関心を高める
	2 資料を読み、内容を理解 する。 3 ロールプレイングを行い 主人公の心情を理解する。	板書で内容理 解を助ける。 劇に対する抵 抗感を和らげ るために、最 初は自分の席 で隣の者と演 技させ、次に 代表が前に出 て演技するよ うにさせる。
展 開	4 劇を見ての感想を述べ合 い話し合いを深める。	意図的指名に より多様な考 えを出し合う ようにさせる。